

政策評価表

1 政策の名称 **第1部 緑と水辺に恵まれた多自然都市を創る**

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度 達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
1	市内の花や緑は豊かだと思ふ市民の割合	%	60	70	54.1	62.3	◎
2	身近な水辺に親しみを感じる市民の割合		40	50	31.6	36.4	○
3	身近な公園に満足している市民の割合		50	60	38.5	45.6	○
④	自宅や地域で花作りや植樹など緑化活動をしている市民の割合		40	50	34.2	37.7	○

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ◎＝順調である、○＝ある程度向上がみられる、△＝あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度 進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
1	谷津田保全区域面積	ha	24	(18)	9	12	15	21	◎
2	親しみのある水辺に整備した割合	%	56.8	(47.4)	33.4	35.2	38.9	41.4	○
3	都市公園整備面積	ha	847	(833)	812	828	840	845	◎
4	大規模な公園の利用者数	人/年	3,140,000	(3,085,673)	3,004,183	3,329,235	3,142,384	3,053,652	○
5	緑地協定締結数	地区	182	(178)	172	172	173	173	△
6	花のあふれるまちづくり参加・協働団体数	団体	420	(390)	345	396	424	434	◎

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎＝順調に進捗している、○＝前進している、△＝遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
✓ 政策目標の実現に向け、概ね順調である	市内の花や緑は豊かだと思ふ市民の割合が中間目標値に達しています。また、身近な水辺や公園に関する満足度も向上しています。さらに、自宅や地域で緑化活動を行う市民の割合も増えています。具体的な取組みとしても、花のあふれるまちづくりに取り組む団体が増えており、緑や花に親しむ市民が増えていることが伺えます。谷津田の保全や都市公園の整備など、市の取組みも概ね順調に推移しています。ただし、緑地協定締結数については、横ばいで推移しています。
政策目標の実現に向け、前進がみられる	
政策目標の実現に向け、あまり前進していない	

5 今後の方針

市内の花や緑の豊かさなど、総じて一定の向上がみられることから、当面は、これまでの取組みをベースに施策の展開を図ります。

政策評価表

1 政策の名称 第2部 地球と共に生きる循環型都市を創る

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度 達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
⑤	ごみの排出抑制やリサイクルに心がけている市民の割合	%	65	70	55.4	66.7	◎
⑥	省資源・省エネルギーに心がけている市民の割合		80	90	53.1	61.8	○
⑦	美化・環境保全活動をしている市民の割合		30	40	20.2	22.9	△

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ◎＝順調である、○＝ある程度向上がみられる、△＝あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度 進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
7	温室効果ガスの総排出量	千tCO ₂ /年	16,796	(17,233)	17,888	18,577	18,378	18,293	△
8	BOD達成率	%	100.0	(82.0)	55.0	40.0	65.0	55.0	△
9	ごみ(一般廃棄物)の再生利用率	%	35	(31)	24	25	28	29	○
10	一人1日あたりのごみ(一般廃棄物)排出量	g	865	(929)	1,025	1,005	918	863	◎

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎＝順調に進捗している、○＝前進している、△＝遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
政策目標の実現に向け、概ね順調である	<p>ごみの排出抑制やリサイクルに心がけている市民の割合が中間目標値に達しています。また、省資源・省エネルギーに心がけている市民の割合も向上しており、環境意識の高まりから、環境に配慮した行動を心がけている市民が増えていることが伺えます。ただし、美化・環境保全活動をしている市民の割合については、微増にとどまっています。</p> <p>このような市民行動などの成果として、一人1日あたりのごみ(一般廃棄物)排出量の削減が順調に進んでいます。</p> <p>一方、温室効果ガスの総排出量が増加傾向にあるほか、BOD達成率も横ばいで推移するなど、環境を示す数値については十分な成果が出ていません。</p>
✓ 政策目標の実現に向け、前進がみられる	
政策目標の実現に向け、あまり前進していない	

5 今後の方針

環境に配慮した市民の自主的な活動の一層の促進を図るため、引き続き支援を行います。
一方、温室効果ガスの総排出量及びBOD達成率の改善については、現状と課題を精査し、より効果的な取組手法を検討します。

政策評価表

1 政策の名称 **第3部 安心して暮らせる健康福祉のまちを創る**

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度 達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
8	公共の場でのバリアフリー化が進んでいると思う市民の割合	%	40	50	26.9	32.9	○
9	高齢者に対する保健福祉サービスが充実していると思う市民の割合		35	50	20.1	19.0	△
10	子育て支援サービスは充実していると思う市民(小学生以下の子どもと同居している市民(学生・生徒を除く))の割合		35	50	18.7	21.0	△
⑪	健康づくりに気を使っている市民の割合		65	70	57.2	63.4	○
12	医療体制は充実していると思う市民の割合		40	50	28.0	29.0	△

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ◎=順調である、○=ある程度向上がみられる、△=あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度 進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
11	進行した歯周炎に罹患している60歳の割合	%	50.0	(52.8)	56.9	54.1	53.0	54.2	○
12	介護・支援を必要としない高齢者の割合	%	85.61	(85.91)	86.36	85.69	86.23	86.24	◎
13	いきいきプラザ・センターの利用者数	人/年	689,000	(632,475)	547,688	515,397	514,238	548,413	△
14	保育所入所待機児童数	人	0	(136)	340	270	329	335	△
15	ファミリー・サポート・センター活動件数	件/年	20,000	(16,047)	10,118	11,281	9,422	9,197	△
16	障害者の新規就職者数	人/年	280	(256)	219	170	200	207	△
17	障害者のグループホーム等の利用者数	人/年	214	(161)	82	96	177	200	◎

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎=順調に進捗している、○=前進している、△=遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
政策目標の実現に向け、概ね順調である	バリアフリー化に関する市民の満足度が、中間目標値には達しないものの向上しています。 一方、子育て支援サービスの充実度や医療体制の充実度については微増にとどまっているほか、高齢者に対する保健福祉サービスの充実度については微減となっており、前回から大きな変化がみられません。
政策目標の実現に向け、前進がみられる	具体的な取組みについては、介護・支援を必要としない高齢者の割合や障害者のグループホームの利用者数が順調に進捗していますが、その他については、目標達成に向けて遅れが生じている状況です。
✓ 政策目標の実現に向け、あまり前進していない	保健福祉・医療サービスの充実に向けた取組みを継続的に進めていますが、少子・高齢化の進行や経済情勢の悪化等に伴い市民ニーズが一層高まっていることから、取組みの効果が市民の満足度の向上まで至っていないものと考えられます。 なお、健康づくりに気を使っている市民の割合が増えており、自らの健康に対する関心の高まりがみられます。

5 今後の方針

公共の場でのバリアフリー化や健康づくりについては、一定の向上がみられることから、当面は、これまでの取組みをベースに施策の展開を図ります。
一方、高齢者福祉については、特別養護老人ホームや介護人材など、介護サービス基盤の整備を進めるとともに、ひとり暮らしや認知症高齢者対策などの充実強化を図ります。
また、子育て支援については、保育所待機児童の解消を図るため民間保育園の整備や保育ルームの拡充を図るとともに、乳幼児医療費助成の拡充やファミリーサポートセンターなど子育て支援策の充実を図ります。
さらに、医療体制については、産科医確保のための分娩手当の創設、ハイリスク出産に対応するための地域周産期母子医療センターの設置を図り、その充実を目指します。

政策評価表

1 政策の名称 **第4部 生活環境のゆとりと安全を確保する**

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度 達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
13	道路が歩きやすいと思う市民の割合	%	35	50	21.8	25.9	○
14	市内の道路は、安心して車を運転することができると思う市民の割合		30	50	15.7	20.1	○
15	消防・防災体制が整っていると思う市民の割合		45	70	16.7	22.3	△
16	市内の治安はよいと思う市民の割合		45	70	19.5	29.6	○

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ◎＝順調である、○＝ある程度向上がみられる、△＝あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度 進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
18	駅のバリアフリー化の割合(エレベーター整備等)	%	83.7	(65.7)	38.8	44.9	55.1	63.2	○
19	歩道の段差改良率	%	100.0	(95.2)	88.0	90.0	91.0	92.0	○
20	放置自転車台数	台	7,500	(10,557)	15,143	11,530	7,531	9,610	◎
21	耐震診断費助成戸数	戸	1,059	(726)	226	624	699	735	◎
22	耐震改修費助成戸数	戸	102	(66)	12	26	51	80	◎
23-1	汚水処理人口普及率	%	98.7	(98.2)	97.4	97.9	98.1	98.3	◎
23-2	下水道汚水処理普及率	%	97.3	(97)	96.0	96.7	96.9	97.1	◎
24	床上・床下浸水及び広範囲な道路冠水の対策率	%	6.3	(3.8)	0.0	1.2	1.9	2.2	○
25	救急救命士数	人	130	(119)	103	108	115	119	◎
26	自主防災組織数	組織	973	(903)	798	825	846	860	○
27	防犯パトロール参加市民数	人/年	57,960	(42,288)	18,780	24,360	35,340	40,200	○
28	犯罪発生件数	件/年	15,600	(18,944)	23,959	21,804	20,065	18,543	◎

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎＝順調に進捗している、○＝前進している、△＝遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
政策目標の実現に向け、概ね順調である	市民の満足度は、総じてやや向上しています。ただし、消防・防災体制の整備については、具体的な取組みでは救急救命士数及び自主防災組織数が増えているものの、市民満足度は微増にとどまっています。 また、市内の治安はよいと思う市民の割合が増えており、犯罪発生件数の減少や防犯パトロールに参加する市民の増加が背景にあると考えられます。 具体的な取組みについては、放置自転車台数など、7指標が達成想定値に達するなど、概ね順調に推移しています。 市民生活指標の推移と比較して、市民満足度の向上がやや低くなっています。
政策目標の実現に向け、前進がみられる	
政策目標の実現に向け、あまり前進していない	

5 今後の方針

道路の歩きやすさ・走りやすさや市内の治安のよさについては、一定の向上がみられることから、当面は、これまでの取組みをベースに施策の展開を図ります。
なお、消防・防災体制の整備については、現状と課題を精査し、安全・安心のまちづくりの実現に向け、地域との協働体制の構築を積極的に推進するなどの取組みを進めます。

政策評価表

1 政策の名称 第5部 都市の機能と表情を豊かにする

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度 達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
17	中心市街地などで食事や買物を楽しんでいる市民の割合	%	60	65	55.4	56.3	△
18	身近な地域の街並みに愛着を感じる市民の割合		55	60	50.8	56.5	◎
19	市内の公共交通の便はよいと思う市民の割合		50	60	44.1	48.3	○

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ◎＝順調である、○＝ある程度向上がみられる、△＝あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度 進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
29	狭あい道路拡幅整備事業受付件数	件/年	70	(62)	50	43	61	57	○
30	都市計画道路整備率	%	72.3	(70.9)	68.9	69.1	69.4	69.7	△

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎＝順調に進捗している、○＝前進している、△＝遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
政策目標の実現に向け、概ね順調である	身近な地域の街並みに愛着を感じる市民の割合が中間目標値に達しているほか、市内の公共交通の便はよいと思う市民の割合も向上しています。ただし、中心市街地などで食事や買物を楽しむ市民の割合は微増にとどまっています。具体的な取組みについては、都市計画道路の整備率が微増にとどまっています。
✓ 政策目標の実現に向け、前進がみられる	
政策目標の実現に向け、あまり前進していない	

5 今後の方針

身近な地域の街並みの親しみやすさや市内の公共交通の利便性については、一定の向上がみられることから、当面は、これまでの取組みをベースに施策の展開を図ります。一方、中心市街地の活性化については、現状と課題を精査し、まちなかの賑わいと憩いの場所の創出など、地元商店街をはじめとする多様な主体との連携を図りながら、まちなかの魅力・回遊性の向上に努めます。

政策評価表

1 政策の名称 第6部 豊かな心をはぐくむ学びの場を広げる

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度 達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
20	学校教育の取り組みは充実していると思う市民(小・中学生と同居している市民(学生・生徒を除く))の割合	%	35	50	19.7	26.5	○
21	近所の青少年は健全に育っていると思う市民の割合		35	50	21.3	28.3	○
22	自分が学びたいことが学べる場があると思う市民の割合		40	50	29.4	29.3	△
㉓	生涯学習施設の利用率		50	60	45.0	42.1	△

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ◎＝順調である、○＝ある程度向上がみられる、△＝あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度 進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
31	学校ボランティア数	人	150	(90)	0	50	59	75	○
32	不登校児童生徒数の割合	%	0.68	(0.79)	0.96	1.08	0.97	1.05	△
33	生涯学習講座の受講者数	人/年	179,000	(155,276)	119,689	117,403	147,868	216,152	◎
34	図書館図書貸出数	千冊/年	5,246	(4,818)	4,177	4,137	4,228	4,326	△

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎＝順調に進捗している、○＝前進している、△＝遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
政策目標の実現に向け、概ね順調である	学校教育の取り組みの充実度や青少年の健全育成について、中間目標値には達していないものの、満足度が向上しています。 一方、生涯学習機会の確保については、具体的な取り組みでは生涯学習講座の受講者数が伸びているものの、自分が学びたいことが学べる場があると思う市民の割合が低くなっており、生涯学習施設の利用率についても低くなっています。 また、不登校児童生徒数の割合や図書館図書貸出数といった指標で遅れがみられます。
✓ 政策目標の実現に向け、前進がみられる	
政策目標の実現に向け、あまり前進していない	

5 今後の方針

学校教育・青少年健全育成については、一定の向上がみられることから、当面は、これまでの取り組みをベースに施策の展開を図ります。
 一方、生涯学習機会の確保については、公民館の整備・修繕を計画的に進めるなど市民に身近な学習の場の確保に努めるとともに、多様化・高度化する市民ニーズに対応するため様々な学習機会の充実を図るほか、ボランティア制度を有効に活用するなど生涯学習を支援する人材の確保にも取り組みます。

政策評価表

1 政策の名称 **第7部 様々な交流から新しい文化を創造する**

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
24	芸術文化活動を行うための環境が充実していると思う市民の割合	%	30	40	21.7	25.7	○
25	定期的にスポーツ・レクリエーション活動をしている市民の割合		35	50	24.0	27.2	△
26	国際交流・国際協力を行った市民の割合(義援金の寄付などを含む)		20	30	14.7	13.5	△

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ○=順調である、○=ある程度向上がみられる、△=あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
35	主要文化施設利用者数	人/年	1,400,000	(1,162,088)	805,220	738,118	1,322,108	1,307,326	◎
36	博物館・美術館入館者数	人/年	166,500	(159,071)	147,928	154,922	171,753	145,399	△
37	科学館入館者数	人/年	300,000	(180,000)	0	0	224,449	404,735	◎
38	国際交流ボランティア活動件数	件/年	1,000	(868)	670	730	682	644	△

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎=順調に進捗している、○=前進している、△=遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
政策目標の実現に向け、概ね順調である	芸術文化活動を行うための環境の充実度について満足度が向上しており、具体的な取り組みでも、主要文化施設や科学館の利用者数が順調に伸びています。 一方、定期的にスポーツ・レクリエーション活動をしている市民の割合は微増にとどまっています。 また、国際交流・国際協力を行った市民の割合や国際交流ボランティアの活動件数がやや減少しており、グローバルな視点に基づく国際交流活動の拡大が課題となっています。
政策目標の実現に向け、前進がみられる	
✓ 政策目標の実現に向け、あまり前進していない	

5 今後の方針

芸術文化活動のための環境整備については、一定の向上がみられることから、当面は、これまでの取り組みをベースに施策の展開を図ります。
 一方、スポーツ・レクリエーション活動については、市民一人ひとりがそれぞれのライフステージにあったスポーツ・レクリエーション活動を楽しく、継続的に実施できるよう、情報サービス体制の確立や指導者の養成と確保、教室・行事の開催等に努めるとともに、民間施設を含めた既存スポーツ施設の有効活用を図ることにより、市民が手軽に活動できる場の確保などに取り組みます。
 また、国際交流・国際協力については、民間の国際交流団体等との連携を深め、市民の参加機会の増大に努めるとともに、今後の姉妹・友好都市との交流では、分野をしばり、より成果が期待できる戦略的な交流手法を検討します。

政策評価表

1 政策の名称 第8部 躍動し賑わいを生む産業を展開する

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度 達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
27	日常の買物に満足している市民の割合	%	75	80	73.6	76.9	◎
28	市内には家族や友人と行きたい施設やイベントがあると思う市民の割合		40	50	27.7	31.0	△
29	市内の雇用機会の充実度		30	50	15.4	13.9	△
30	市内の農業・農村を身近に感じる市民の割合		30	40	18.7	30.1	◎

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ◎＝順調である、○＝ある程度向上がみられる、△＝あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度 進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
39	ビジネス支援センターの利用者数	人/年	110,000	(66,000)	0	0	37,240	125,346	◎
40	企業立地助成数	件	29	(20)	7	9	13	16	○
41	映画・TV等のロケーション撮影誘致件数	件/年	50	(30)	0	0	38	82	◎
42-1	特別栽培農産物栽培品目	品目	8	(7)	6	6	6	8	◎
42-2	特別栽培農産物栽培面積	ha	70	(67)	63	52	48	67	◎
43	市民農園数(区画数)	区画	3,708	(3,612)	3,467	3,229	2,856	2,994	△

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎＝順調に進捗している、○＝前進している、△＝遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
政策目標の実現に向け、概ね順調である	日常の買物に関する満足度が中間目標値に達しています。ただし、市内施設やイベントに関する満足度は微増にとどまっています。 また、市内の農業・農村を身近に感じる市民の割合が中間目標値に達しています。地産地消に対する市民の関心の高まりや、環境保全型農業への取組みが順調に推移していることが、背景にあると考えられます。 一方、雇用機会の充実度については減少しており、昨今の厳しい経済状況が背景にあると考えられます。
✓ 政策目標の実現に向け、前進がみられる	
政策目標の実現に向け、あまり前進していない	

5 今後の方針

日常の買物のしやすさや市内農業・農村の親しみやすさについては、一定の向上がみられることから、当面は、これまでの取組みをベースに施策の展開を図ります。
 一方、魅力的な施設やイベントの充実については、本市が有する観光資源の魅力向上を図るとともに、「みなと」や「海」を活用し、新たな視点による観光資源の開発なども行います。
 また、雇用機会の充実については、当面は厳しい雇用情勢が続くと思われる中、相談体制を充実するなどの取組みを進めます。

政策評価表

1 政策の名称 **第9部 参加と協働の社会を創る**

2 政策評価指標(基本指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値		H21年度 達成状況
			H22年度 中間目標値	H27年度	H16年度	H21年度	
③1	地域活動に参加している市民の割合	%	40	50	29.3	32.6	○
32	市の提供する情報はわかりやすく、充実していると思う市民の割合		55	70	36.4	39.1	△
33	市内に住み続けたいと思う市民の割合		70	80	62.9	70.7	◎

※No.の○数字は市民の行動に関する指標、それ以外は市民の満足度に関する指標。

※H21年度達成状況の凡例：27年度目標に向けて ◎＝順調である、○＝ある程度向上がみられる、△＝あまり向上していない

3 市民生活指標(補完指標)の状況

No.	指標	単位	目標値		現状値				H20年度 進捗状況
			H22年度 ※()内は20年度達成想定値		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
44	千葉市民活動センター登録団体数	団体	470	(410)	320	358	377	425	◎
45	コミュニティセンター利用者数	人/年	2,000,000	(1,792,528)	1,481,320	1,601,459	1,689,177	1,695,631	○
46	各種証明書等の自動交付機(KIOSK端末)の設置台数	台	12	(7)	0	0	0	0	△
47	電子入札件数	件/年	3,000	(1,800)	0	9	102	788	△

※No.の下線数字はアウトカム指標(事業の結果として市民生活にもたらされる成果を示す指標)、それ以外はアウトプット指標。

※H20年度進捗状況の凡例：22年度目標に向けて ◎＝順調に進捗している、○＝前進している、△＝遅れがみられる

4 政策の進捗状況の評価と説明

評価	説明
政策目標の実現に向け、概ね順調である	<p>地域活動に参加している市民の割合が増えています。具体的な取組みとしても、千葉市民活動センターの登録団体数が順調に増加しており、市民による自主的な地域活動が増加していることがわかります。</p> <p>一方、情報ネットワーク都市への取組みについては、市の提供する情報のわかりやすさ・充実度が微増にとどまっているほか、自動交付機の設置についても、現在、コンビニ交付等の動向が明らかでないために導入が遅れています。</p> <p>また、電子入札の取組みについては、工事関係で原則全件導入済ですが、物品関係の一部事業者にとっては電子環境の整備が負担となっていることなどから、想定よりも伸びが低くなっています。</p> <p>市内に住み続けたいと思う市民の割合が中間目標値に達しており、約7割の市民が、本市の様々な取組みや、市民による自主的な活動を通じて、本市を「住み続けたいまち」として認知しています。</p>
✓ 政策目標の実現に向け、前進がみられる	
政策目標の実現に向け、あまり前進していない	

5 今後の方針

参加と協働については、一定の向上がみられることから、当面は、これまでの取組みをベースに施策の展開を図ります。

一方、情報ネットワーク都市に向けた取組みについては、現状と課題を精査し、ホームページの充実など市民にわかりやすい情報提供に努めるとともに、最新の情報通信技術を活用した効果的な取組みを検討します。

より多くの市民に、本市を「住み続けたいまち」と思ってもらえるよう、今後とも努力していきます。